



2023年3月30日

各 位



会社名 JCRファーマ株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 芦田 信
(コード番号 4552 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員管理本部長 本多 裕
(TEL 0797-32-1995)

アレクシオン社と J-Brain Cargo®技術を用いた神経変性疾患治療薬に関する 共同研究、選択権およびライセンス契約締結のお知らせ

当社は本日、アレクシオン・アストラゼネカ・レアディーズ（以下、アレクシオン社）と神経変性疾患を対象疾患として、当社独自の血液脳関門（以下、BBB）通過技術 J-Brain Cargo®を適用した非公開の治療薬候補物質の共同研究、選択権およびライセンス契約を締結しましたので、お知らせいたします。

J-Brain Cargo®技術は受容体を介するトランスサイトシスにより、バイオ医薬品を中枢神経（以下、CNS）領域に輸送する当社が開発した独自技術です。本技術を初めて適用した医薬品として、ライソゾーム病の一つであり、CNS 症状や兆候を呈するムコ多糖症 II 型に対する治療薬「イズカーゴ®点滴静注用 10mg」が日本において承認されています。

J-Brain Cargo®技術は様々な治療候補物質への適用が可能であり、幅広い中枢神経疾患への応用が期待されます。アレクシオン社との契約は、神経変性疾患の治療に J-Brain Cargo®技術を適用する初めてのグローバルパートナーシップです。

今回の共同研究、選択権およびライセンス契約により、両社は、BBB 通過型の非公開の新薬候補物質による新たな治療法の研究開発を開始いたします。また、アレクシオン社は研究期間において、非公開の疾患に対して治療候補物質となるたんぱく質を追加できる選択権を保有します。非臨床研究以降の臨床開発および新薬候補物質の事業化においてもアレクシオン社は選択権を行使することが可能となります。

本契約により、JCR は、アレクシオン社から契約一時金を受領するほか、研究開発、販売に関するマイルストーンフィーおよび製品化後の売上高を含んだ特定のマイルストーン達成に伴うロイヤルティを受け取る権利を有します。

当社の代表取締役会長兼社長の芦田 信は、次のように述べています。

「神経変性疾患に対し、初の J-Brain Cargo®技術適用となる今回のアレクシオン社との提携は、J-Brain Cargo®技術の応用可能性を示す重要なマイルストーンです。この取り組みのパートナーとしてアレクシオン社と共同研究できることを大変喜ばしく思っています。

アンメット・ニーズに対する新たな治療法が望まれている神経変性疾患領域において、今回のパートナーシップがおおいに貢献できると確信しています。」

なお、本件に関して今期（2023年3月期）の当社連結業績への影響は軽微であり、期初予想に織り込み済みです。

以 上